

横浜発!

海洋分野の研究×ビジネスの最前線! 「海と産業革新コンベンション(うみコン2019)」開催

横浜市では「海洋都市横浜」を掲げ、都市の活性化や新たな魅力づくりに取り組んでいます。このたび、産業振興やビジネス創出を目的とした「海と産業革新コンベンション(うみコン2019)」を開催します。

海洋の分野では、日本近海にも眠る海底資源の開発、洋上風力や海流発電等の再生可能エネルギーをはじめ、新たな可能性を秘めた様々な研究や技術開発が国内外で行われています。

「うみコン」は、海洋分野で日本を代表する研究機関や、企業、大学等が横浜に集い、最先端の研究成果や、技術・情報等の発信・交流を通じて、イノベーションや新たなビジネス機会の創出を図る、「海洋都市横浜」ならではのコンベンションで、今回2回目を迎えます。ぜひご来場ください。

1 開催概要 ※詳細は別紙リーフレット参照

- (1) 開催日程：平成31年2月20日(水)・21日(木) 10時～17時
- (2) 会場：大さん橋ホール(大さん橋国際客船ターミナル内)
- (3) 主催：海洋都市横浜うみ協議会(※裏面参照)、横浜市、海と産業革新コンベンション実行委員会

(4) 会場構成

- ①ブース・ポスター展示：研究機関・企業等が最新の研究成果や技術・製品等を展示・発信(出展団体数：33団体(予定))
- ②講演・セッション：海洋分野の研究やビジネスの第一線で活躍するキーパーソンが登場(講演・セッション数：25(予定))

【同時開催】

- ・海洋研究開発機構(JAMSTEC)主催「ブルーアースサイエンス・テク2019」
- ・横浜市温暖化対策統括本部主催「第7回ブルーカーボン・シンポジウム」※詳細は別紙参照
- ・海に関する仕事紹介セミナー

2 主な内容

基調講演

⚓ 我が国の海洋政策について

<講演者>内閣府 総合海洋政策推進事務局長
重田 雅史様

⚓ 我が国の再生可能エネルギー政策について

<講演者>資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課長 山崎 琢矢様

⚓ ESG投資(※)の潮流と環境格付について

<講演者>日本政策投資銀行 サステナビリティ企画部
環境格付主幹 八矢 舞子様 など

※ESG投資…「環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)」に配慮した企業活動を評価する投資

セミナーほか

⚓ 海洋分野の企業・団体による 学生向け仕事紹介セミナー



H29セミナーの様子
(横浜市開港記念会館)

⚓ 市内海洋関連企業等の出展・PR

研究成果・技術・取組の紹介

⚓ 深海探査技術を競う、 国際コンペティション に挑む

「Team KUROSHIO」
の取組報告



H30 11/23 Team KUROSHIO
ラウンド2(決勝)への出発式
(ドックヤードガーデン)

⚓ 革新的深海資源調査技術について (戦略的イノベーション創造プログラム(SIP))

⚓ スコットランドの海洋産業・取組紹介

⚓ 洋上風力、海流発電等の 再生可能エネルギーの取組



世界初の海流発電
実証試験の様子(㈱IHI)

⚓ ICTを活用した次世代の水産、 養殖技術開発の取組

裏面あり

3 昨年実績

- ・名称：海と産業革新コンベンション（うみコン2018）
- ・日時：平成30年1月16日（火）・17日（水）の2日間
- ・会場：大さん橋ホール
- ・参加者数：約2,500人

うみコン2018の様子（1月16・17日）



セッション会場

各ブースの様子

4 海洋都市横浜うみ協議会の概要

【設立日】平成27年9月28日

【名誉会長・会長】 名誉会長：林 文子 横浜市長
会長：小林 一美 横浜市副市長

【設立目的】協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、
産官学連携により次の取組を進めます。

ア 海洋に関する活動の総合的な情報発信
イ 市民の海に関する理解・関心の向上
ウ 海洋環境の保全
エ 海洋産業の振興

【協議会参加企業・団体（順不同）：33団体】

（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）、（国研）水産研究・教育機構、
（国研）海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所）、
（独）海技教育機構、（公財）帆船日本丸記念財団、
横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、神奈川大学、東京大学生産技術研究所、
（一財）エンジニアリング協会、（一社）海洋産業研究会、（一社）日本船用工業会、
（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）、（一社）次世代センサ協議会、
（一社）横浜港振興協会、（株）IHI、千代田化工建設（株）、東亜建設工業（株）、日揮（株）、
横浜港埠頭（株）、（株）横浜八景島、日本郵船（株）、三菱重工業（株）、古河電気工業（株）、
ジャパン マリンユナイテッド（株）、五洋建設（株）、（株）オーシャンスパイラル、
（株）セア・プラス、内閣府総合海洋政策推進事務局、関東地方整備局（国土交通省）、
関東運輸局（国土交通省）、横浜市



【これまでの主な活動実績】

海洋都市横浜うみ博

船舶や生物など海の多様な魅力を発信するイベント
※昨年実績 H30 7/21・22 約23,000人來場



スコットランドとの海洋産業に関する交流ミーティング

横浜市とスコットランド自治政府との共同声明を契機とした、関係者による交流ミーティング(H30 7/4)



5 お問合せ・入場事前登録方法等

【イベント内容のお問合せ先】

海と産業革新コンベンション実行委員会 事務局 電話：045-663-9151

【入場事前登録方法等】

海と産業革新コンベンション（うみコン2019）特設ホームページ <http://umi-con.com/>

6 取材について

会場の様子等、取材を希望される場合は、直接会場にお越しください。

お問合せ先

政策局政策課 担当課長 波多野 陽介 Tel 045-671-4172

入場方法

入場無料

うみコンのご入場には、Webからの事前登録が便利です。
事前登録の上、ご来場いただきますと、スムーズにご入場できます。

交通アクセス



- みなとみらい線「日本大通り駅」下車徒歩約7分(3番出口)
- 横浜市営地下鉄/JR「関内駅」下車徒歩約15分
- 市営バス「日本大通り駅県庁前」下車徒歩約5分
- 市営バス「大さん橋」下車徒歩約3分
- 首都高速横羽線 横浜公園ランプから約3分
- 首都高速湾岸線 新山下ランプから約10分

駐車場のご案内

普通乗用車が最大で約400台まで駐車可能な駐車場がございます。
平日は24時間利用して最大1,500円。
ご利用に関する詳細は、横浜港大さん橋国際客船ターミナルHP
の駐車場案内ページをご確認ください。



同 | 時 | 開 | 催 |

ブルーアースサイエンス・テク2019

2.20 [wed]・21 [thu]

海洋研究開発機構(JAMSTEC)が所有する研究船及び深海調査システム等を利用した研究成果を発表し、研究分野の枠を越えた情報交換を行う場を提供するとともに、研究機関・大学・行政機関・企業と連携した海洋産業振興に資する連絡・交流の機会創出を目的に開催します。

第7回ブルーカーボン・シンポジウムin横浜

2.21 [thu]

「海洋」を舞台とした温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」の取組事例等をご紹介します。

出展者一覧

IHI/宇津木計器/NTTドコモ/オーシャンスパイラル/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/海洋電子/神威産業/関東地方整備局/関東船用工業会/九州工業大学/キュー・アイ/コスモス商事/JFEスチール/SIX VOICE/次世代センサ協議会・海洋計測センサ技術研究会/水産研究・教育機構/スコットランド国際開発庁/セア・プラス/ソルトン/千代田化工建設/鶴見精機/東亜建設工業/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/ニイガタ/日揮/ニッスイマリン工業/日本海洋事業/日本チタン協会/古河電気工業/横河電機/横浜企業経営支援財団/横浜・八景島シーパラダイス/理研電具製造/横浜市 など(順不同)

主催:

海洋都市横浜うみ協議会/横浜市/海と産業革新コンベンション実行委員会協議会・実行委員会の構成企業・団体/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所)/海技教育機構<JMETS>/帆船日本丸記念財団/東京海洋大学<TUMSAT>/東京大学生産技術研究所/横浜国立大学/横浜市立大学/神奈川大学/エンジニアリング協会/海洋産業研究会/日本船用工業会/日本プロジェクト産業協議会<JPIC>/次世代センサ協議会/横浜港振興協会/IHI/神奈川新聞社/千代田化工建設/東亜建設工業/日揮/日鉄住金物産/日本政策投資銀行/横浜港埠頭/横浜八景島/日本郵船/三菱重工業/古河電気工業/ジャパン マリンユナイテッド/五洋建設/オーシャンスパイラル/セア・プラス/内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省関東地方整備局/国土交通省関東運輸局/横浜市(順不同)

協賛:ニッスイマリン工業/住友重機械マリンエンジニアリング

お問い合わせ:うみコン実行委員会事務局 Tel. 045-663-9151

うみコン 2019

海と産業革新 コンベンション

Ocean&Business Innovation Convention

シーズの最前線と対話・交流によるイノベーション

詳しいプログラムは [うみコン2019](http://umi-con.com)

<http://umi-con.com>

事前にご登録いただくともスムーズにご入場できます。▶



日時 2019
2.20 [wed]・21 [thu]

入場
無料

場所 大さん橋ホール
(横浜港大さん橋国際客船ターミナル内)

INVITATION



うみコンとは

最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する場を目指し産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」によって開催された新しいコンベンションです。2回目となる今回は、前回以上に内容を充実し、海洋に関する企業・研究機関・大学などが集積する横浜に、技術・研究成果・情報・製品が集結します。さまざまな関係者との交流やビジネスのきっかけ作り、ぜひご来場ください。



1. 企業・研究機関等ブース

水産、養殖、海洋資源、海洋観測、ロボティクス、再生可能エネルギー、IoT、レジャー等をテーマに、企業や研究機関、大学等がブース出展します。



出展者

IHI/NTTDコモ/オーシャンスパイラル/海洋研究開発機構<JAMSTEC>/海洋電子/関東船舶工業会/キュー・アイ/コスモス商事/JFEスチール/SIX VOICE/水産研究・教育機構/セア・プラス/ソルトン/鶴見精機/東京海洋大学/東京大学生産技術研究所/ニッスイマリン工業/日本海洋事業/日本チタン協会/横浜企業経営支援財団/理研電具製造/横浜市 など(順不同)

2. セッション

海洋に関する政策・研究・技術開発などの今後の展望について、キーパーソンが登壇したり、企業・研究機関・大学などのプレゼンターが、テーマごとに研究成果、技術、取組を紹介し、交流のきっかけをつります。また、学生を対象に「海に関する仕事紹介セミナー」を開催します。

3. ポスター展示

研究成果や技術開発を紹介したポスターを展示。ポスターセッションでは研究者と直接、コミュニケーションを図ることもできます。

ブルーアースサイエンス・テク

物質循環、海洋生態系ダイナミクス、
海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、
基盤技術研究開発、資源他を予定

ポスターセッション：両日とも11:30～13:00
(展示ポスター前で研究者が説明します。)

- 千代田化工建設「千代田の海洋資源開発プロジェクトへの取組」
- 日揮「深海ガス田への挑戦(FLNG)(仮)」
- 関東地方整備局「関東地方整備局の取り組み(仮)」
- 古河電気工業
「福島浮体式洋上風力発電向けライザーケーブルの実証データ解析」
- 次世代センサ協議会・海洋計測センサ技術研究会「計測センサが拓く海洋産業」
- 宇津木計器 ●神威産業 ●スコットランド国際開発庁 ●ニイガタ ●横河電機



4. 海に関する仕事紹介セミナー

大学生に対し、企業・団体による業務紹介を通じて、海に関わる様々な分野の仕事について理解を深める機会を提供します。

参加企業
海洋研究開発機構/水産研究・教育機構/キュー・アイ/ジャパン マリン ユナイテッド/セア・プラス/鶴見精機/東亜建設工業/三菱重工業/横浜港埠頭/横浜八景島/関東運輸局/関東地方整備局/(12社)



2/20 (WED)		2/21 (THU)	
午前	午後	午前	午後
<p>セッションA</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基調講演 <ul style="list-style-type: none"> ・ 我国の海洋政策について ・ エネルギー政策と企業によるエネルギー事業の取組について ・ ESG投資等について 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブルーアースサイエンス・テク <ul style="list-style-type: none"> ・ 物質循環、海洋生態系ダイナミクス、海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、基盤技術研究開発、資源他を予定 	<ul style="list-style-type: none"> ●第7回ブルーカーボンシンポジウム 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブルーアースサイエンス・テク <ul style="list-style-type: none"> ・ 物質循環、海洋生態系ダイナミクス、海洋底ダイナミクス、海洋・気候ダイナミクス、基盤技術研究開発、資源他を予定 ※20日・21日のいずれかで以下を実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術報告セッション(海洋研究開発機構の技術的な取組や新技術について紹介します。) ・ 若手奨励賞(ポスター発表)表彰式
<p>セッションB</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●海に関する仕事紹介セミナー ※4参照 	<ul style="list-style-type: none"> ●講演 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋研究開発機構/革新的深海資源調査技術管理法人 深海調査技術の未来 	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果・技術・取組の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産研究・教育機構 水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォームのご紹介 異業種連携により行われた研究開発・実証化の取り組みのご紹介(仮) ・ スコットランド国際開発庁
<p>セッションC</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●講演 <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市港湾局 生物共生型護岸の計画概要について ・ 横浜・八景島ソノパラダイス/横浜市温暖化対策統括本部 横浜ブルーカーボン事業と自然の水族館うみファームの可能性 ・ 海洋研究開発機構 深海から採取されたバイオリソンの提供事業のご案内 ・ IHI 海流発電システムについて(仮) ・ 横河電機 ・ 戦略的イノベーション創造プログラム<次世代海洋資源調査技術> 	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果・技術・取組の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東亜建設工業 環境に関する技術を中心に紹介 ・ セア・プラス 自律型小型電動無人観測艇を利用した深浅測定の紹介およびその他利活用の提案 ・ ソルトン 製品概要PR ・ オーシャンスパイラル ・ ニッスイマリン工業 ・ 横河電機 	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果・技術・取組の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東亜建設工業 環境に関する技術を中心に紹介 ・ セア・プラス 自律型小型電動無人観測艇を利用した深浅測定の紹介およびその他利活用の提案 ・ ソルトン 製品概要PR ・ オーシャンスパイラル ・ ニッスイマリン工業 ・ 横河電機

プログラムは追加・変更になる場合があります。講演タイトル、講師・発表者、スケジュールなどの最新情報はHPでご確認ください。

2/21
2019

in Yokohama



blue carbon symposium

第7回 ブルーカーボン・シンポジウム

in 横浜

海洋都市 横浜の目指す 持続可能な社会

🌊 日時 平成31年2月21日(木)
10:30-12:30

🌊 場所 大さん橋ホール
(「うみコン2019」会場内)
横浜市中区海岸通 1-1-4

参加費 ≫ 無料

主催 ≫ 横浜市

※「うみコン2019」に事前にご登録いただくとスムーズに入場できます。



「うみコン2019」と同時開催!

海と産業革新コンベンション(うみコン2019)

🌊 日時 平成31年2月20日(水) - 21日(木)
10:00 - 17:00

🌊 会場 大さん橋ホール(横浜港大さん橋国際客船ターミナル)

🌊 主催 海洋都市うみ協議会/横浜市/
海と産業革新コンベンション実行委員会

内容紹介 ●●●

水産、海洋資源、再生可能エネルギーなどをテーマに企業、研究機関、大学等のブース出展、最先端の研究成果や海洋に関する幅広い分野の講演、パネル・製品展示、交流スペース等

URL <http://www.umi-con.com/>

〈お問い合わせ先〉 横浜市温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課
Tel 045-671-4109 E-mail on-ygv@city.yokohama.jp



🚢 プログラム

10:15

開場

10:30

開会あいさつ

横浜ブルーカーボン事業について 横浜市温暖化対策統括本部

10:45

講演1 「気候変動問題へのブルーカーボンの貢献」

公益財団法人 笹川平和財団 海洋政策研究所
主任研究員 角田 智彦 氏

11:00

講演2 「私たちの身近な海辺における炭素貯留量の評価の試み」

国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生物系機能評価研究室 主任研究員 矢部 徹 氏

11:20

講演3 「鉄鋼スラグ製品による海域環境改善への取組」

一般社団法人日本鉄鋼連盟 鉄鋼スラグ海域利用促進 WG
主査 松本 剛 氏
(JFEスチール(株)スラグ事業推進センター スラグ企画部長)

11:40 - 11:45 休憩

11:45

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」取組紹介

12:30

閉会

🚢 横浜ブルーカーボン事業

横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」に平成23年度から取り組んでいます。「ブルーカーボン」とは、海洋に生息する生き物によって吸収・捕捉される炭素のことをいいます。

「横浜ブルーカーボン」では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組む、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。

平成26年度からは、本市独自のカーボン・オフセット制度（「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」）の運用を行っており、「地元産わかめの地産地消」と「海洋ヒートポンプの導入」によるCO₂削減効果で、クレジット（CO₂の削減量・吸収量）を創出してきました。今年度は、新たに「ハイブリッドタグボートの導入」によるCO₂削減効果を加えてクレジットを創出し、スポーツイベント等の開催で排出されたCO₂のオフセット（埋め合わせ）を行っています。シンポジウム後半で各取組について紹介いたします。

※カーボン・オフセット…自らのCO₂等の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収活動に投資することによってオフセット（埋め合わせ）する事を言います。



◆ 注意事項 ◆

本イベントの内容を予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。
プログラムの追加、訂正は随時横浜市 Web ページにてご案内します。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ygv/bluecarbon/>



7th blue carbon symposium